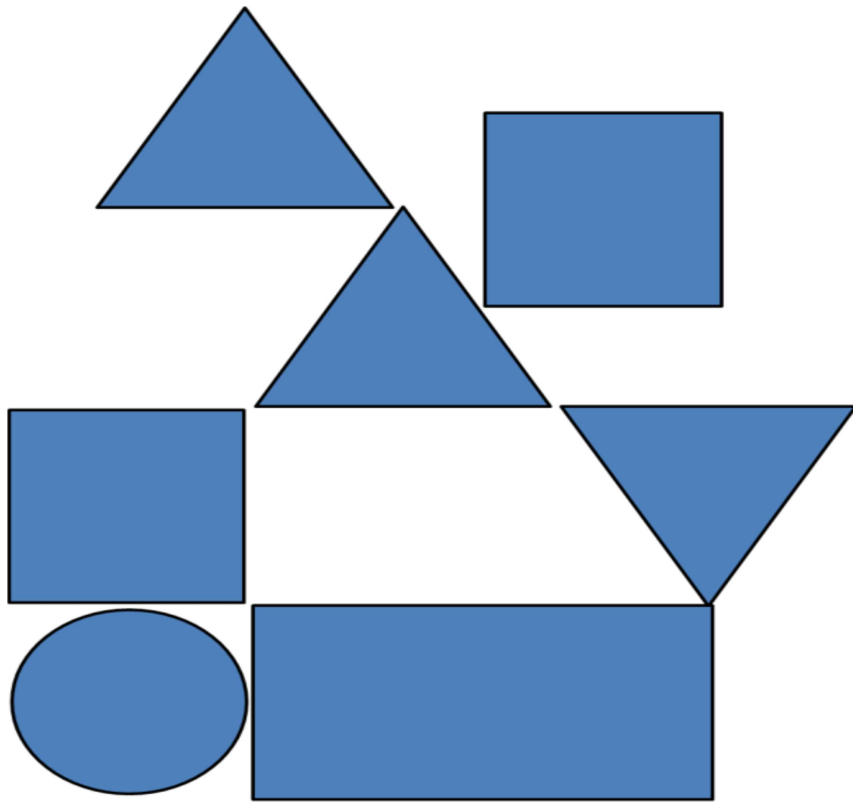


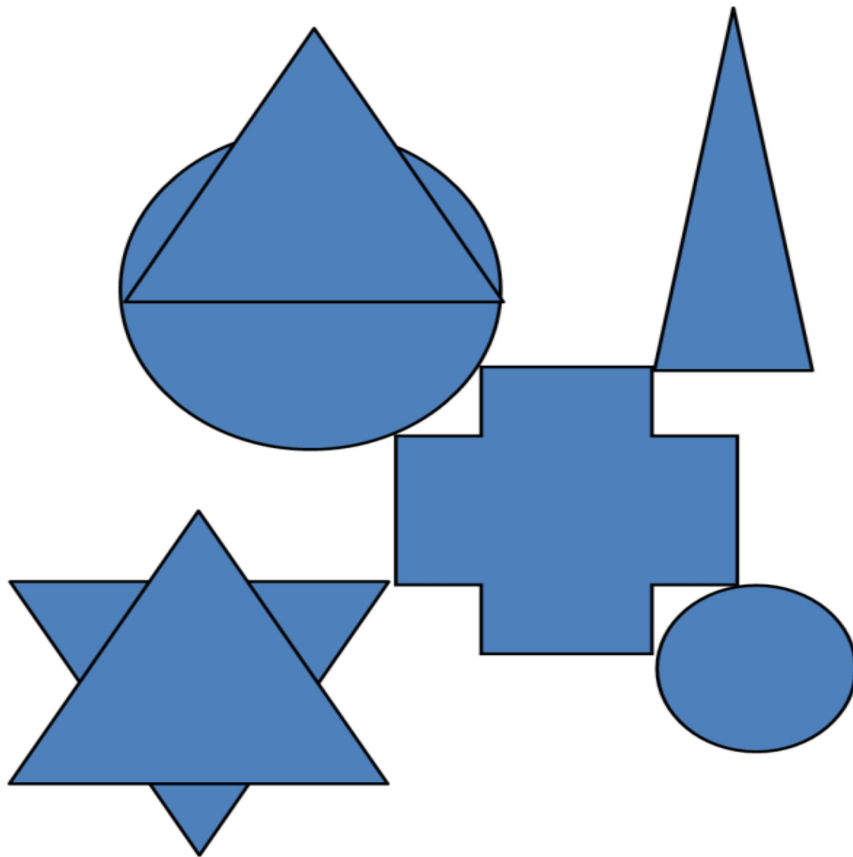
他教科でも活用できる学習教材事例 5 (言語表現の学習)

情報のデジタル化についての実習を行うとき、「アナログ」と「デジタル」の違いを理解させるために、情報をアナログで伝える実習を教室で行った。2人1組でペアを作り、与えられた図形を言葉のみで相手に正確に伝えることで、言葉というアナログ方式で情報を伝達する難しさを実感させた。

学年・組		第 学年 組	教科担任	
日 時		平成 年 月 日 ()	場 所	
主 題		アナログとデジタルの違いについて理解する		
目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・アナログデータとデジタルデータの特徴を理解する。 ・言葉のみを用いて、情報を相手に伝えることの難しさを理解する。 ・情報を伝えることを通して、コミュニケーション能力を身に付ける。 		
時 間		内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点
導 入	10 分	「アナログ」と「デジタル」の違いを理解する。	<p>身近にある「アナログ機器」と「デジタル機器」を考える。</p> <p>「アナログ」と「デジタル」は何が違うのかを考える。</p>	
展 開	35 分	「アナログ方式」で情報を正確に相手に伝える。	<p>2人1組になり、図形①のプリントをペアの1人に配り、言葉のみを用いて相手に伝え、その図形を紙に書いて元の図形を再現する。</p> <p>どこまで情報を正確に伝えることができたかをお互いに確認する。</p> <p>伝える人と書く人の役割を交代し、図形②のプリントを用いて再度行う。</p>	<p>相手に図形のプリントが見えないように注意する。</p> <p>相手に聞き返すことは禁止とする。</p> <p>制限時間（5分）を決めておく。</p> <p>更に複雑な図形で行う。</p>
ま と め	10 分	「アナログ」で情報を伝える難しさを理解する。	情報を「デジタル」で伝える方法を考える。	



图形①



图形②